

# 小中一貫教育PDCAサイクルマネジメント

## 【取組評価指標例】

学校評価・全国学力・学習状況調査、児童生徒質問紙、沖縄県学力定着状況調査、県版児童生徒質問紙  
問題行動・不登校等生徒指導上の課題に関する調査など  
※赤字は全教職員参加による取組

月	各グループ・学校	市教育委員会
1~3月	<b>□合同研修会(後期)の実施</b> ・本年度の取組評価・次年度の方針等 ・各種調査等の客観的な分析、改善策の検討	【3月】 小中一貫教育コーディネーター研修会⑤
4~7月	<b>□校内体制の整備(全校体制に向けての組織整備)</b> <b>□各グループでの体制整備</b> <b>□合同研修会(前期)の実施</b> ・各小・中学校の児童生徒の実態把握 ・「目指す子どもの姿」の確認 ・年間計画の確認 ・共通実践事項の確認  <b>□小中合同授業研究会の実施</b> ◆学校評価(1回目)	【4月】 小中一貫教育コーディネーター研修会① 【5月】 小中一貫教育アンケート①  【7月】 小中一貫教育コーディネーター研修会②
夏季休業	<b>□合同研修会の実施(中期)の実施</b>	
9~12月	<b>□小中合同授業研究会の実施</b>  ◆学校評価(2回目)	【10月】 小中一貫教育コーディネーター研修会③  【12月】 小中一貫教育コーディネーター研修会④ 小中一貫教育アンケート②

## 組織・運営に関するこ

### 各グループ・学校

**合同研修会**  
 □対象:グループ教職員、コーディネーター  
 □回数:グループの状況に応じて設定  
 □内容:各校の実態共有、「目指す子どもの姿」の確認  
 年間計画の策定、共通実践事項の確認  
 取組の評価、次年度に向けて、その他

**合同授業研究会**  
 □対象:グループ教職員、コーディネーター  
 □回数:グループの状況に応じて設定  
 □内容:グループの実態の応じた内容

**グループ管理職(校長・教頭)会**  
 □対象:グループ管理職(校長・教頭)  
 コーディネーター  
 □回数:必要に応じて開催  
 □内容:各校の取組共有、情報交換

### 市教育委員会

**小中一貫教育コーディネーター研修会**  
 □対象:小中一貫教育コーディネーター  
 □回数:年5回(実施要項で確認)  
 □内容:第4ステージの取組、コーディネーター業務  
 確認、グループの計画報告、進捗状況等  
 ※詳細は実施要項で確認

**成果報告会**  
 □対象:小中一貫教育コーディネーター  
 □回数:年1回(実施要項で確認)  
 □内容:グループの成果報告

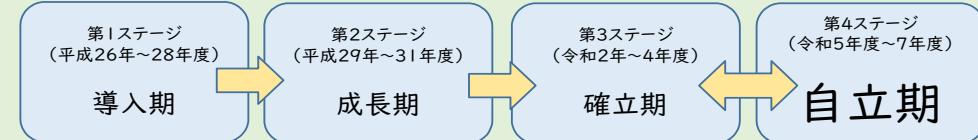


那覇市教育委員会ポータル  
サイトにアクセスすると小中一  
貫教育の資料等を確認するこ  
とができます。



# 那覇市的小中一貫教育

## 小中一貫教育のこれまでの取り組みと第4ステージの方向性



那覇市ではこれまで、知・徳・体のバランスの取れた教育を展開し、自ら高め、健全でたくましく「生きる力」をもった児童生徒の育成に努めてきました。

しかし、中学進学時の不登校や問題行動の増加、学習意欲の低下等様々な課題が生じたため、平成24年度より小中一貫教育を導入し、課題解決を図ってきました。

これまでに「導入期・成長期・確立期」と実施し、小学校と中学校でつながりを意識した教育活動を展開することで、那覇市小中一貫教育の評価指標である全国学力・学習状況調査の平均正答率の向上や問題行動の数値において改善が見られることから、小中一貫教育を行うことが一定の効果をもたらしていると考えられます。

「自立期」においては、各中学校グループが自らの児童生徒の実態を踏まえ、義務教育9年間を通じて育成を目指す子どもの姿(資質・能力)を明確にし、発達段階に応じた指導・支援を行うことで、主体的に取り組む教育を展開していきます。

## 第4ステージ(自立期)取組の具体

### 学校の取組

取組のイメージはp2~p3に記載

- 「グループ管理職(校長・教頭)会」「合同研修会」「合同授業研究会」を開催し、各グループにおける重点化する資質・能力や教育目標を共有し「目指す子どもの姿(資質・能力)」を掲げること。
- 「学習の基盤となる資質・能力(言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力)」の具体を検討し、その育成に向けて各教科や発達段階に応じた指導の在り方を考えるなど、指導の工夫・改善を図ること。
- 「学力の向上を支える支持的風土づくり」に向けては、「安心」「所属」「承認」「自立」の4つのポイントを念頭に置いた具体的な取組を推進し、非認知能力を育むこと。

### コーディネーターの役割

- 合同研修会、合同授業研究会の計画・運営
- 計画的な学習指導の計画
- 交流活動の計画
- \*上記について毎年度教育計画に意図的、計画的に位置づけ実施する

### 市教育委員会の支援

- 校長連絡協議会、教頭連絡会等での周知
- 各中学校グループ訪問
- 小中一貫教育コーディネーター研修会の実施
- 小中一貫教育アンケートの実施、分析(年2回)
- 各中学校グループの進捗状況の把握、支援

## 評価指標(市教委)

※「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」

評価指標	目標値(令和7年度まで)
「全国学力・学習状況調査」の平均正答率 ※全国平均正答率との差	(小)国語・算数 全国平均以上 (中)国語・数学 ±0
※「問行調査」の「不登校児童生徒のうち学校内外の機関等で相談・指導を受けている児童生徒数」の割合	(小)82% (中)85%
「小中一貫教育アンケート(年2回実施)」の「学校生活が楽しい」 ※「あてはまる」の数値	(小)68% (中)62%

